

あいち農産物生産流通レポート

平成22年9月号

情報サロン		
・今年も『あいち食育いきいき検定』を実施します	(食育推進課).....	1
地域トピックス		
・「QRコードを利用したバラ集出荷システム」が完成	(西三河農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・レストランにおけるレタス契約栽培の取り組み	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・親子食育教室「夏休み！親子de食育」を開催しました	(食育推進課).....	5
フラワーページ		
・花き産業振興において市場の果たす役割	(株)名港フラワーブリッジ 橋本 実).....	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	10
花 き		
・切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年6月)	26
関連指数	27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

今年も『あいち食育いきいき検定』を実施します
- 楽しみながら食育の知識を広げてみませんか -

本県では、県民の皆さんに食に関する知識や関心を深めていただくため、昨年度に引き続き、インターネットを利用した食育検定を実施しています。

この検定は無料で何度でも受検することができ、すぐに結果を知ることができます。

1 内 容

(1) 出題分野

食をめぐる現状と食育推進施策 健康な体をつくる 豊かな心を育む 環境にやさしい暮らしを築く 食の安全、食品表示 地域の食・食育の6分野から出題します。

参考情報は、「食育ネットあいち」のホームページで紹介しています。

(2) 受検コース

「こどもコース」と「一般コース」の2種類で、どなたでも受検できます。

「こどもコース」：25問出題、小学5年生から中学生程度を対象とした内容

「一般コース」：25問出題

2 受検可能期間

平成22年10月31日(日)

午後5時まで

3 受検結果の表示

全問解答後または制限時間終了後に、次の結果を表示します。

- ・得点と合否
- ・出題分野ごとの得点率(レーダーチャート)
- ・得点ランキング



受検コース選択画面

4 合格証の発行等

合格者のうち希望者には、『食育推進大使』のドアラが発行した合格証を送ります。(送料は自己負担となります。)

なお、一般コースの合格者(合格証の発行を希望された方で、県内に在住又は在勤の方に限る)には、愛知県食育推進ボランティアについて紹介した資料を送付しています。

ご協力いただける方は、ボランティアとして登録いただくことができます。

食育検定へのアクセスは、インターネット検索サイトで「あいち食育いきいき検定」を検索するか、<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/info/kentei.html> と入力してください。

「QRコードを利用したバラ集出荷システム」が完成

J A西三河管内の「レインボーバラ共選組合」は、組合員18名（農家17名・法人1名）で構成され、消費者の多様なニーズに応えるために、100以上の品種を年間8,300千本出荷しています。

これまでは、品種の多さに加えて、等階級が8階級、取引市場も10市場あるため、出荷調整作業は大きな負担となっていました。

特に、手作業による仮伝票の作成、目視による検品作業、J Aの出荷システムへの入力とは別に、J Aあいち経済連の出荷報告書作成システムへの出荷データの再入力などの作業があり、早急に改善する必要がありました。

このため、出荷作業の合理化と省力化を図ることを目的として、平成22年7月に地域農業振興事業により、荷受から出荷までの一連の作業をQRコードで一元管理できるシステムを導入しました。

【合理化・省力化のポイント】

- 1 出荷データを元に作成されるQRコードラベルを出荷物に貼り付け、これをQRコード読み取り機で検品することにより仮伝票作成が不要になり、検品作業の省力化が可能。
- 2 出荷データを経済連出荷報告書作成システムやJ A精算システムで処理できるデータ形式に変換できることから、データの再入力作業が不要。
- 3 出荷データをそのまま活用できるため、出荷物の誤情報がなくなり、市場からの信頼がより一層高まるとともに、出荷情報をいち早く市場に送付することで、有利販売につながる。



QRコードラベル



検品作業

レストランにおけるレタス契約栽培の取り組み

東京に事務所を置き、農産物の流通に携わる県の機関で構成している在京流通行政連絡会が、福島県白河市にある株式会社サイゼリアの福島工場レタス育苗施設を視察しましたのでその概要を紹介します。

1 レタス産地形成について

サイゼリアは、イタリア料理をリーズナブルな価格で提供するファミリーレストランで、現在、国内に762店舗を直営で運営しています。サイゼリアでは、「健康・安心・リーズナブルな楽しい食事」の実現のために素材の調達からレストランの各店舗で提供するメニューまでの一連の流れを一貫して行う取り組み（バーティカル・マーチャンダイジングシステム）を進めています。平成10年に、福島県白河市の農家S氏は、株式会社サイゼリア社長（現在は会長）からの誘いを受けて、サイゼリアのレストランで使う食材としてレタス、トマト、キュウリを契約栽培することになりました。

2 レタス育苗施設について

サイゼリアは、レストランへの周年安定供給のため、平成11～13年にレタス育苗施設をつくり、契約農家34戸が栽培するレタス苗を全て生産しています。必要なレタス苗本数は、店舗の売上げをもとに緻密な計算を行い決定しています。

また、必要な量のレタスを必要な時期に出荷するためには、いつ苗を出荷できるようにすればよいかをベテラン農家の



契約栽培農家代表のSさん

経験と知恵を借りながら決定し、は種等の生産管理に生かしています。なお、レタス品種は食味を考慮し、サイゼリアのサラダ食材として最適なものを選んでいきます。また、育苗施設内で苗の栽培に用いた資材については全てデータ管理し、トレーサビリティができるようになっています。

3 コールドチェーンによるレタス集荷体制

ほ場からレストランまで鮮度を保持するために、収穫されたレタスは、ほぼ毎日、集荷場に集められ、4に設定された冷蔵トラックで神奈川県、埼玉県、千葉県、兵庫県にある同社野菜加工場に運ばれます。野菜加工場内も4に設定され、加工されたレタスは低温のまま各店舗に配送されます。ほ場での鮮度保持のため、収穫は集荷時間の直前までに終え、夏は朝、冬は昼頃に集荷が行われています。

さらに、食品工場での使いやすさを考慮して、固く巻きすぎないうちに収穫し、余分な外葉はつけないように留意しています。このように「見た目の良さ」より「素材としての質」を優先して収穫し、出荷時には生産者と一緒に重量を測定し必要分量に対して過不足が出ないように注意しているそうです。

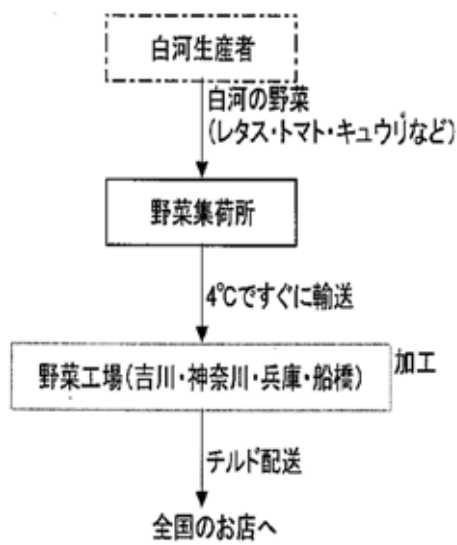


レタスの育苗ハウス

レタスの契約単価を全国の平均単価の約2倍、さらには、肥料・農薬・マルチ等の生産資材をサイゼリアが負担する条件で出発しました。

契約開始時に契約農家8戸ありましたが、5年後には各農家ともにレタス単体でかなりの収入が得られるようになったそうです。その後、契約農家は、自分たちだけではなく会社にも収益を出してもらおうことが必要であると考えようになり、話し合いの中で契約単価の下げと主な生産資材の自己負担をするようになりました。

現在、34戸の契約農家は、契約レタスの栽培に加えて、水稻、夏秋トマト栽培を組み合わせることで経営を行っています。十分な所得を上げているようです。



契約レタスの出荷の流れ

4 企業と契約農家のWIN・WINな関係

レタス契約栽培を開始した当初、サイゼリアでは、生産者が儲かるようなシステムを作るとの意図から、契約条件としてレタ

5 最後に

サイゼリアの契約栽培は、契約農家代表S氏の存在が大きいものと言えます。元々は福島県の指導農業士として後継者育成に力を入れたこともあり、行政、農協とのつながりもある地域を知った人物です。サイゼリア会長との個人的なつながりから発展したとはいえ、S氏の資質、人脈がなければ現在のような育苗・生産・出荷体制はできなかったものと思われます。

今回の事例は、企業が契約野菜の取引を進める上で、適材を発掘し、育成することが重要で、成功するための近道であるかを学ぶ良い機会となりました。

親子食育教室「夏休み！親子 de 食育」を開催しました

食の大切さを知り、食に対する関心を高め、健全な食生活の実践につなげてもらうため、あいち食育サポート企業団等の協力のもと、小学校高学年生とその保護者を対象に、親子食育教室を開催しました。

平成22年7月28、29日（第1回）、8月10、11日（第2回）の2回実施し、それぞれ1日目は「食育のおはなし」と題し、実習やクイズなどを交えながら栄養バランスや歯の健康、食品のことを学ぶ講義を、2日目は「『食』の現場を見てみよう」と題し、食品工場や卸売市場などを見学しました。

講座の内容

	第1回	第2回
実習 講義	「みんなで考えよう お口の健康と食育」 愛知県歯科医師会	「みんなで考えよう お口の健康と食育」 愛知県歯科医師会
	「海苔の博士になろう！」(株)浜乙女	「日本の伝統料理を学ぼう！」 カネハツ食品(株)
	「スーパーの売場で使える豆知識とバランスの 良い食事」ユニー(株)	「レモンマンとミクロの大冒険」 (株)ポッカコーポレーション
	「親子でマイみそを作ろう！」イチビキ(株)	「ぬか床で漬け物をつくろう！」(株)丸越
現地 見学	「乳酸菌飲料・野菜飲料ができるまで」 カゴメ(株)	「魚が食卓に届くまで」 名古屋市中央卸売市場本場
	「牛肉・豚肉が食卓に届くまで」 名古屋市中央卸売市場南部市場	「味噌・豆乳の工場を見学しよう」 マルサンアイ(株)
	「お酢の歴史をたどる旅」(株)ミツカン	「パンができるまで」敷島製パン(株)

この講座の中から、卸売市場の見学の様子について紹介します。

名古屋市中央卸売市場本場「魚が食卓に届くまで」

始めに、「おさかなマイスター」でもある中部水産(株)販売促進部長の神谷さんから、魚についてのお話を伺いました。

「マグロの歯はどんな形をしているのでしょうか？」ということで、マグロの頭を見せてもらいました。肉食系のマグロは尖った歯をしており、「動物は皆、食べ物の種類に合った歯をしている。人間は様々な食べ物を食べられるように多様な歯を持っているのだから、好き嫌いをしてはいけない。」と教えていただきました。



初めて見るマグロの歯に興味津々

【あいち食育サポート企業団】 食育に積極的に取り組もうとする愛知県発祥の食品関連企業が自発的に集まり結成。食育啓発イベントなどを開催している。(構成企業：イチビキ(株)、カゴメ(株)、カネハツ食品(株)、敷島製パン(株)、(株)浜乙女、(株)ポッカコーポレーション、(株)丸越、マルサンアイ(株)、(株)ミツカン、ユニー(株))

続いて市場内の見学。マイナス50の超低温倉庫の中に入りました。倉庫内の床や壁は凍りつき、息は真っ白、30秒も辛抱できないくらいの寒さでした。でもこの超低温のおかげで、見た目も味も衰えないおいしい魚が食べられるのです。



プロの包丁さばきに大人も子どもも釘付け

その後、名古屋鮮魚卸協同組合の青年会の皆さんが、カンパチをさばいてくれました。こんなに大きな魚が目の前でさばかれる様子を見るのは初めての子が多かったようで、どの子も食い入るように見つめていました。

このカンパチはつい先ほどしめたばかりのもので、まだ身が動いており、思わず「かわいそう」という声も。でも、私たちが動物や植物の命をいただいて食べていることを感じてくれたと思います。

この実習では他にも、イワシを手でさばいてみたり、マグロの中落ち（骨の間の身）をスプーンで掻きとってみたり、貴重な体験ができました。

「刺身は新鮮な方がおいしい」そう考えている方も多いかも知れません。そこで、先ほどさばいたカンパチと、昨日しめたカンパチの刺身を比べてみました。

しめたばかりのカンパチは、死後硬直のためコリコリしてさっぱり。一方、昨日しめたカンパチは柔らかく、味が沁みだしていました。どちらがおいしいかは人それぞれ。歯ごたえを楽しみたい方、味を楽しみたい方、自分の好みに合った食べ方を見つけたいですね。



脂ののった中落ちをスプーンで掻きとり



鮮度の違うカンパチを食べ比べ

参加者の感想

この卸売市場の見学以外も、ただ話を聞くだけでなく、実際に見たりさわったり食べ比べたりと、子ども心に響くよう工夫した講義をしていただきました。

- ・「普段体験できないことばかりできてとてもうれしかった」(子どもより)
- ・「様々な命をいただいていることが実感でき、働いている方々に感謝の気持ちを持つことができた」(保護者より)
- ・「『食べること』はやはり家庭から。家族で『食育』を考える機会になりました」(保護者より)

参加者の感想を見ると、この食育教室が心に残る経験になったように思えます。ぜひこの経験を、普段の生活での実践につなげてほしいと思います。

花き産業振興において市場の果たす役割

1 名港フラワードブリッジとは

始めに、「名港フラワードブリッジ」という新しい卸売会社について紹介します。

弊社は、従来名古屋市中区松原地区で営業していた地方卸売市場の5つの卸売会社が移転合併して出来た会社です。



「名港フラワードブリッジ」と

いう社名は、産地と消費地を結ぶ懸け橋になろうという意思を表しています。花の消費が低迷している現状では、業界を挙げて消費拡大のための活動を行うべきと考え、その懸け橋である卸売市場が、従来以上に積極的に行動することで、産地及び消費者のためにお役に立ちたいと考えています。

2 産地フェアの開催

お陰さまで、新市場は松原と異なり、いろいろなイベントが可能なスペースを有しています。このスペースを使い消費拡大のための仕事をしていこうと考えています。

現状では「産地フェア」と称して、産地よりサンプル商品のご提供をいただき、オークションルーム後方のエリアを活用し、現品を展示しながら商品情報の提供を行ったり、まだ商品となっていないものをご提供いただき、その花の商品性について、買受人の方々に評価をいただく等の活動をしています。中には珍しい花も展示しており、見た人を驚かせたりもしています。



3 提案型マーケティング

いわゆる「マーケティング」を実施する際に、消費者の皆様にごどんな花がいいですかとお聞きしても、具体的な話はほとんど出てこないのが通常です。従って、「産地フェア」のように、サンプルという形で具体的に新しい花を提示し、判断または評価を流通業者または消費者に尋ねるといった「提案型マーケティング」が有効な手段と考えています。

4 花文化の最盛期「江戸時代」

業界の念願であり、最終目標は、生活の中に根を下ろした花文化の創造です。

わが国では、かつて世界に誇ることができる花文化が花開いた時代がありました。それは江戸時代です。

数年前に、名城公園で毎年開催されている名古屋朝顔の展示会を見に行きました。江戸時代に育種された様々な変種の朝顔を見て、今のようにバイオテクノロジーがあった訳ではなく、ただ交配でのみ作り上げたということを知って大変感心し驚いたものです。

切れ目の入ったもの、ねじれのあるもの等があり、今ではほとんど市場で流通しないものばかりです。これを作り上げるには大変多くの試行錯誤が行われた結果であって、それには多くの人々が参加し、かつ長い年月を経て偶然出来たものを固定したものと考えられます。このことは、多くの人々が朝顔に関心を持って育種に参加したという文化があって初めて実現できたことと思います。

花により多くの人々の関心を獲得し、花文化の育成に参加していただくことが花文化をより強く大きな波にしていくこととなると思います。現代はどうでしょうか。街中どこを歩いても花が溢れているという状況ではありませんね。また、どの家庭にも花がいつもあるという状況でもありません。随分江戸時代とは違うと思います。やはり多くの人々が花文化の育成に参加していくことが必要であると思います。

5 花を長持ちさせるための管理体制

また、花を楽しむ文化を育成していくためには、花が生きものであるということを知りあうことも重要であると思います。いかに長持ちさせるかも学びのひとつです。

花を長持ちさせるためには、花の生命力について理解する必要があります。こういったことについても新市場のオークションルームや、多目的エリアを活用し情報提供していきたいと考えています。



特に切花に関しては、高い気温が苦手ですから、流通段階では、特に夏季低温管理が必要となります。新市場では夏季全館冷房を施していて、概ね卸売場は24℃以下に管理されています。また、仲卸エリアに関しては、通路を含めさらに低い概ね20℃程度となっており、花の品質を卸売市場で劣化させないよう企画、運営がされています。

6 まとめ

新市場を経由した高品質の花を一般家庭で楽しんでいただき、花を通して自然の営みの素晴らしさ、不思議さについて感動していただけること、また花きに関する情報提供を通じて、花文化醸成の一助となることを、私ども花き市場の本望です。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：いちじく）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	187	187 (100%)	601	601	
22年見通し	180	—	580	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>全量地元愛知から入荷。 春先の低温の影響から生育は遅れ気味だが、品質は良好。 作付面積は名古屋市近郊を中心に住宅化が進み長期的に減少傾向が続いている。 入荷量、価格ともは前年をやや下回る見込み。</p>			<p>果物やし好品の消費が伸び悩んでいることから、数量を減らして購入単価を下げ、買いやすくする工夫が求められる。 食物繊維や鉄分が豊富な健康食品として顧客が固定化しているため、シャーベットなど子どもに受け入れられやすいデザートメニュー開発も必要である。未熟果がたまにあるので着色や果形の確認をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	47	29 (62%)	1,324	1,245	福岡 (14%) 埼玉 (9%) 茨城 (6%)
22年見通し	50	—	1,300	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産は7月から入荷が始まり、今月から本格化する。平成19年、20年と豊作であったが、昨年は平年並みの収量であった。現在のところ、猛暑による影響はほとんどなく、平年並みの収量が見込める。福岡などの他産地も同様に平年並みの出荷の見込みである。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に需要があるが、昨年から続く景気後退の影響で荷動きが悪い。 愛知産は9月から本格的に入荷が始まるが、実需者の評価は全体に高い。 出荷に際しては、L玉を中心にサイズの統一、品種別選果の徹底、カビ果や裂果の混入防止など、さらなる品質の安定を図り、安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	39,978	189	191	186	北海道 43%	
	18年	40,675	198	196	204	長野 20%	
	19年	38,002	195	198	199	群馬 9%	
	20年	38,204	200	199	207	青森 5%	
	21年	36,865	195	212	202		
	計	5カ年平均	38,745	195	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	37,400	197	-	-			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道と、群馬、長野等高冷地が中心。葉ものを中心に、4月の低温とその後の長雨、梅雨明け後の猛暑で生育不良や棚もちが悪い品目が出ている。土ものは小玉傾向で、入荷量は前年を下回る。入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。							
だい	17年	2,789	95	114	86	84	北海道 51%
	18年	2,824	81	93	78	76	青森 35%
	19年	2,499	90	93	82	96	岐阜 8%
	20年	2,311	101	75	119	111	群馬 3%
	21年	2,557	95	115	99	75	
	計	5カ年平均	2,596	92	99	92	88
22年見通し	2,300	100	110	100	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森中心。播種期は低温で、梅雨明け後は高温だったため傷みが出て、生育は不安定。入荷は少なめ、下位等級が増える見込み。今月中の数量回復は難しい見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
に	17年	3,172	111	98	125	112	北海道 99%
	18年	3,084	130	108	127	157	愛知 0%
	19年	2,623	110	105	125	99	京都 0%
	20年	2,966	120	121	122	115	岐阜 0%
	21年	2,828	121	132	125	107	
	計	5カ年平均	2,935	118	113	125	119
22年見通し	2,800	130	140	130	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道中心。出荷はピークを迎えるが、梅雨明け後の高温で傷みがはげしく、生育にむらがある。作付面積は前年並みで、出荷の集中はない見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

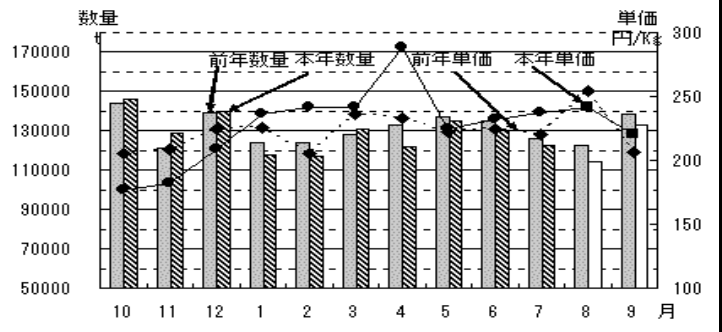
8月23日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	134,591	207	202	215	206	北海道 29%
	18年	134,745	222	220	219	226	群馬 14%
	19年	130,958	222	226	223	217	長野 13%
	20年	139,146	215	220	220	205	茨城 8%
	21年	138,503	206	228	208	183	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	135,589	214	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		133,000	220	-	-	-	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

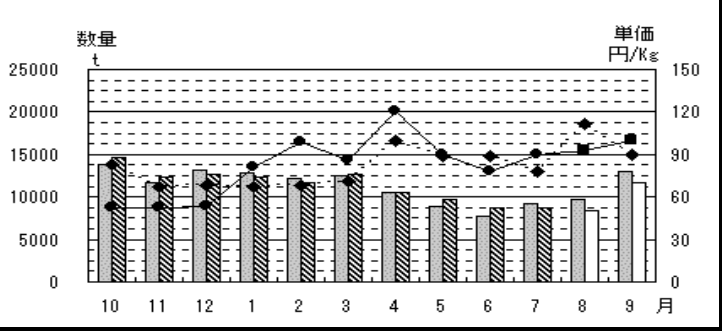
北海道から土物類や根菜類、関東高冷地からは葉茎菜類や果菜類が入荷する。生育は猛暑による障害の影響があり、小玉傾向で、わずかに収量、品質の低下が懸念される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



だいこん	17年	12,332	90	105	84	82	北海道 58%
	18年	12,722	83	92	78	80	青森 30%
	19年	11,961	89	94	80	92	岩手 9%
	20年	12,207	100	77	114	110	福島 1%
	21年	12,912	90	114	89	70	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	12,427	90	97	89	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		11,600	100	110	100	90	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

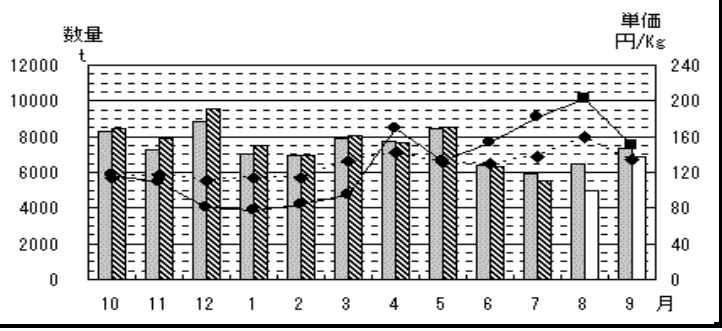
北海道と東北産地中心の入荷となる。北海道と青森は、7月から8月に掛けての高温の影響から一部腐敗や病害が発生しており、出荷量が少ない見込み。岩手も同様の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



にんじん	17年	7,198	127	118	138	127	北海道 95%
	18年	6,888	151	129	148	173	中国 2%
	19年	6,496	122	108	143	110	青森 1%
	20年	7,425	125	129	126	120	千葉 1%
	21年	7,345	135	141	137	126	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	7,070	132	125	138	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		6,900	150	160	150	140	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

北海道からの入荷が中心となる。北海道は、8月の降雨の影響から肥料が流れ肥大が悪く、全体的に小ぶり傾向となる見込み。また、猛暑により市場到着時に品質の低下がみられる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



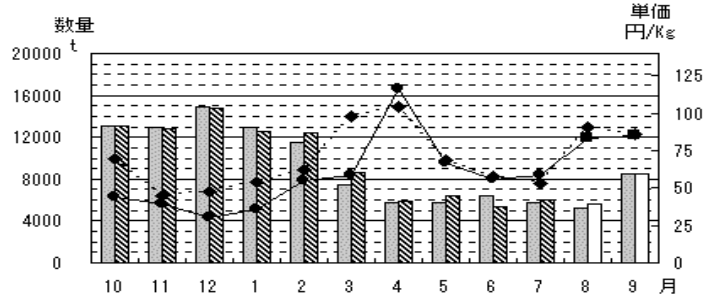
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	3,570	73	81	70	71	長野 93% 北海道 7% 山梨 0%
	18年	3,439	95	116	92	86	
	19年	3,265	85	116	79	66	
	20年	3,058	86	83	92	85	
	21年	2,555	95	94	107	88	
さい	5カ年平均	3,177	86	98	87	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	22年見通し	2,800	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で一部北海道。長雨で根腐れや病害虫が発生するなど不作傾向で、入荷量も少なめ。猛暑による出荷減は中旬まで続くが、準高冷地の出荷が始まる下旬には気温の低下とともに落ち着く見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キヤベツ	17年	3,921	75	64	79	80	群馬 67% 長野 20% 北海道 11%
	18年	4,041	97	88	98	104	
	19年	4,291	83	88	88	72	
	20年	4,391	70	62	79	70	
	21年	3,880	93	94	95	89	
さい	5カ年平均	4,105	83	79	88	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ツ	22年見通し	3,900	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野の高原ものと北海道。梅雨明け後の高温により、生育は悪く小玉傾向で、棚もちが悪くなっている。下級品が出てくる。産地移行する下旬まではこの傾向が続く。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	17年	256	839	920	843	775	岐阜 70% 愛知 17% 茨城 5% 長野 3%
	18年	243	839	933	768	846	
	19年	230	862	811	981	800	
	20年	250	738	713	956	595	
	21年	315	587	606	664	514	
さい	5カ年平均	259	762	787	832	695	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	22年見通し	250	750	850	750	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜の高原もの中心。中旬から愛知がでてくる。岐阜は中旬以降に出荷のピークを迎え、愛知も前月末から出始め、下旬には出そろふ。梅雨明けの高温で生育は悪い。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

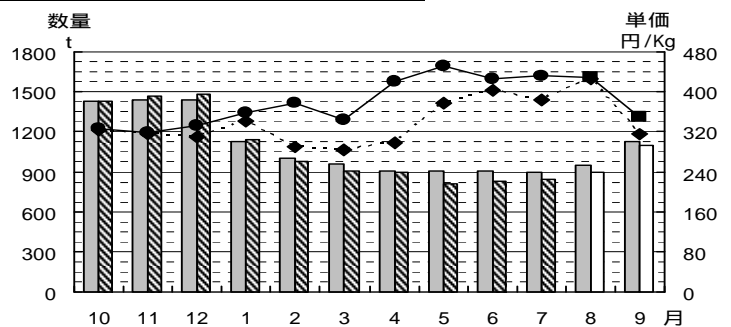
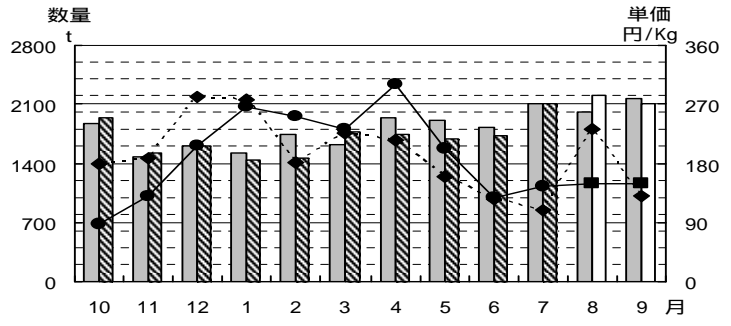
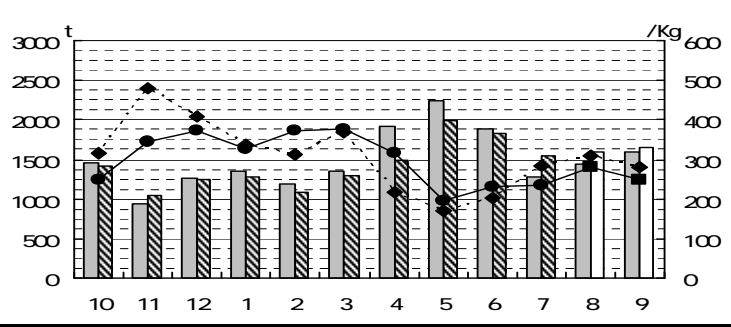
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	17年	8,709	65	68	63	65	長野 84%
	18年	8,592	93	119	91	82	群馬 7%
	19年	8,307	77	118	70	53	北海道 6%
	20年	8,197	77	72	82	78	茨城 3%
	21年	8,465	86	90	89	81	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,454	80	93	79	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,500	85	80	85	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が中心となる。長野は、梅雨明け前後の豪雨、その後の猛暑の影響から腐敗性の病気や芯腐れ病が発生している。回復は9月中旬以降になると見込まれる。</p> <p>全体の入荷量は前年並み、価格は平年並みの見込み。</p>					
キヤベツ	17年	14,572	71	62	76	77	群馬 75%
	18年	14,262	98	91	100	103	岩手 13%
	19年	14,472	84	92	88	72	北海道 6%
	20年	15,616	67	58	74	80	青森 2%
	21年	16,271	85	85	80	75	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	15,039	81	77	83	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	15,400	85	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬からの入荷が中心になる。群馬は豪雨と猛暑の影響から小玉傾向で、一部に病気が見られる。岩手も豪雨と猛暑の影響で小玉傾向で遅れがある。北海道は7月の降雨の影響から病害が発生が見られる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	17年	1,128	719	816	821	586	群馬 27%
	18年	1,154	724	843	616	741	茨城 21%
	19年	1,015	764	776	844	682	栃木 17%
	20年	1,126	664	793	763	483	岩手 16%
	21年	1,437	495	537	556	417	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,172	662	742	708	572	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,200	650	680	670	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬、茨城、栃木とも生育は高温の影響からやや遅れており、作柄はやや不良。岩手も高温の影響から生育がやや遅れている。</p> <p>全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

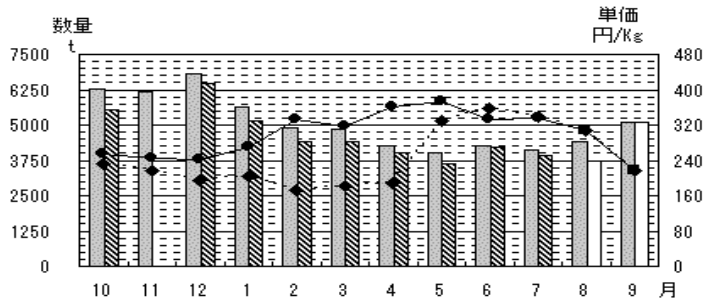
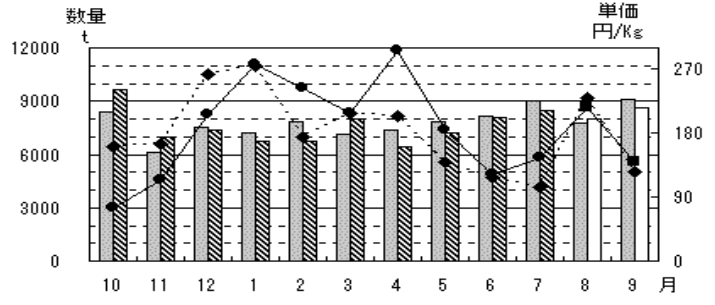
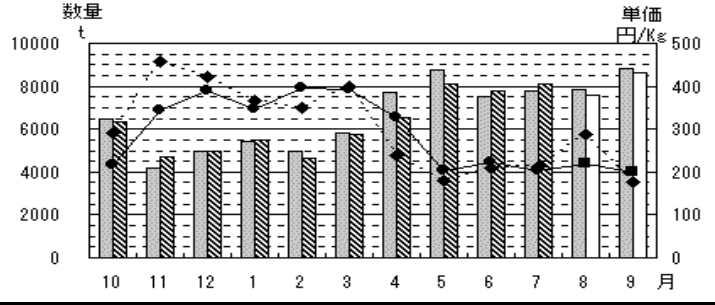
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	1,000	350	342	344	363	北海道 35%
	18年	950	385	376	388	390	愛知 16%
	19年	992	411	371	405	452	富山 12%
	20年	1,166	372	387	357	374	長野 8%
	21年	1,125	317	332	325	293	
	5カ年平均	1,046	366	362	362	372	
22年見通し	1,100	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知の長ねぎと、北海道の軟白、富山、長野の白ねぎ。愛知は高温で作柄が悪く出荷量減っており、気温の低下とともに下旬以降回復する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
レタ	17年	2,185	155	149	184	134	長野 99%
	18年	2,591	134	132	121	153	茨城 1%
	19年	2,385	166	141	157	208	群馬 1%
	20年	1,873	228	227	263	189	愛知 0%
	21年	2,168	131	155	148	94	
	5カ年平均	2,240	160	158	170	156	
22年見通し	2,100	150	160	150	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は前月に引き続き長野中心で、他に群馬、北海道。梅雨明け後の高温により生育は悪く小玉傾向。中下旬に準高冷地に産地が移行すれば、入荷量も増えてくる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
きゅう	17年	1,898	243	260	268	199	長野 26%
	18年	1,643	267	273	255	273	群馬 24%
	19年	2,316	221	166	233	276	山梨 19%
	20年	1,690	252	279	245	230	北海道 14%
	21年	1,600	204	277	207	145	
	5カ年平均	1,830	237	245	242	228	
22年見通し	1,650	250	280	250	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野を中心に、北海道、北関東中心。各産地とも作付面積は減少。前月に数量出尽くした感があり、入荷は少なめになる。気温の低下とともに入荷量は回復する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	4,814	248	240	275	232	青森 34%
	18年	4,817	266	240	282	273	秋田 14%
	19年	4,501	337	314	340	356	茨城 11%
	20年	5,495	251	262	251	238	北海道 10%
	21年	5,114	215	243	207	196	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,948	262	259	269	256	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,100	215	215	220	210	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、秋田、茨城、北海道からの入荷となる。青森、秋田の東北地域は豪雨による病気の発生が心配されるが生育は順調。北海道は7月の降雨と日照不足で生育が遅れ気味である。 全体の入荷量は前年並み、価格も前年並みの見込み。</p>					
しそ	17年	8,831	146	137	178	127	長野 77%
	18年	9,100	133	130	118	150	群馬 13%
	19年	8,660	168	140	168	199	茨城 7%
	20年	7,678	234	245	270	182	岩手 2%
	21年	9,105	126	151	143	91	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,675	159	158	172	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,600	140	135	145	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長野、群馬からの入荷が中心となる。長野は長雨と高温の影響から病害が発生し品質低下となっている。群馬も長雨と高温の影響から生育不良である。 全体として入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅうり	17年	7,946	228	241	253	187	福島 28%
	18年	7,497	249	264	228	256	茨城 12%
	19年	7,692	233	274	231	188	埼玉 12%
	20年	8,352	223	255	201	212	岩手 10%
	21年	8,802	177	257	174	118	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,058	221	258	216	190	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,600	200	220	200	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>東北産地から関東産地への移行時期となる。福島、岩手の生育は猛暑により生育の停滞が散見されるため、入荷量はやや減少する見込み。埼玉の生育は順調で出荷量は前年並みの見込み。 全体として入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	1,005	268	242	295	271	山梨 23% 愛知 22% 徳島 19% 群馬 10%
	18年	882	263	204	260	360	
	19年	959	252	188	291	294	
	20年	900	252	287	238	228	
	21年	1,051	218	236	238	188	
	5カ年平均	959	250	231	265	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	1,000	250	270	250	230		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>				
産地は愛知、山梨、徳島、群馬。各産地出そろうが、大きな出荷のピークはない。高温で生育、市場の引きともに落ち込むため、秋なすが出るまで荷動きは悪い見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	17年	1,698	331	374	277	338	岐阜 37% 北海道 25% 千葉 13% 青森 6%
	18年	1,547	397	392	390	410	
	19年	1,716	348	369	335	339	
	20年	1,748	299	349	261	296	
	21年	1,408	396	458	401	339	
	5カ年平均	1,623	352	386	329	343	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	1,600	350	400	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>				
産地は岐阜、北海道、千葉、愛知。梅雨の長雨とその後の高温から、玉割れ等が発生して下級品が多くなることが予想される。 入荷量は少なかった前年を上回るが平年よりは少なめとなり、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ト ミ マ ト	17年	284	742	638	796	820	北海道 75% 茨城 9% 長野 6%
	18年	342	734	596	728	910	
	19年	302	711	597	705	868	
	20年	345	600	743	642	434	
	21年	339	708	693	791	649	
	5カ年平均	322	697	656	730	729	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	320	700	700	750	650		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>				
産地は北海道中心で他に茨城、愛知。北海道は梅雨明けの高温により玉割れが発生し、商品にならないものが多く出る。色付き不足で小玉傾向。高温の影響はしばらく続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	17年	4,398	255	207	259	316	栃木 32%
	18年	4,490	249	178	261	342	茨城 24%
	19年	4,070	283	199	336	349	群馬 20%
	20年	4,995	220	232	201	230	埼玉 9%
	21年	4,706	212	241	233	171	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,532	242	212	255	278	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	22年見通し	4,700	215	210	215	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。栃木や群馬の生育は一部に高温による病虫害が見られるものの概ね順調、茨城は高温による花落ちで着果数が減少傾向の見込み。全体として、入荷量は前年並みで、価格も前年並み見込み。</p>					
ト	17年	9,071	268	298	231	276	青森 19%
	18年	8,406	333	354	307	348	千葉 18%
	19年	9,020	299	329	274	294	茨城 18%
	20年	9,368	265	312	227	260	福島 12%
	21年	7,792	355	415	358	299	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	8,731	302	339	276	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	22年見通し	7,800	350	380	330	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北と関東産地からの入荷が中心となる。青森、福島、千葉、茨城の各産地とも梅雨明け以降の猛暑により生育は小玉傾向で、高温による花落ちも一部に見られる。9月中旬以降生育は回復する見込み。全体の入荷量は前年並み、価格も前年並みの見込み。</p>					
ミ	17年	1,049	640	597	690	644	茨城 27%
	18年	1,197	681	608	641	797	北海道 20%
	19年	1,185	628	525	675	694	千葉 13%
	20年	1,345	531	671	518	423	福島 8%
	21年	1,252	643	678	720	548	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	1,206	622	618	645	615	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	22年見通し	1,250	640	650	640	630	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、東北産地と関東産地からの入荷が中心となる。千葉、茨城は猛暑の影響から樹勢が弱まっているが9月中旬には回復する見込み。北海道、東北産地も同様の状況である。全体として入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	640	262	217	290	292	岩手 51%
	18年	543	339	349	363	312	北海道 23%
	19年	506	363	355	393	338	茨城 9%
	20年	625	240	276	249	197	
	21年	542	262	308	274	211	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	571	290	297	310	268	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	550	260	300	250	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岩手、北海道中心で、他に福島。4月の低温、長雨、梅雨明け後の高温から生育が不安定で数量が増減し、価格も不安定で乱高下している。気温が低下すれば、数量、価格ともに落ち着く見込み。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					
ばいしよ	17年	3,608	101	107	100	95	北海道 98%
	18年	3,863	96	101	97	91	青森 2%
	19年	2,964	77	79	79	72	京都 0%
	20年	3,040	90	95	91	83	
	21年	2,937	102	122	106	85	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,282	94	101	95	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,900	110	130	120	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道と、青森の残量。北海道は定植の遅れと多雨により小玉傾向で、価格は伸びない。道外への出荷量是不作の前年を下回る見込み。菓子など加工原料の不足が懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	4,655	80	76	82	81	北海道 96%
	18年	5,501	82	80	84	80	兵庫 2%
	19年	5,112	64	63	65	64	アメリカ 1%
	20年	4,804	80	63	65	64	中国 1%
	21年	4,765	99	112	104	84	
ね	5カ年平均	4,967	81	79	80	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,200	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心で、兵庫淡路は中旬以降終了へ。生育は良く順調な入荷が見込まれる。播種時に雨が多かったことから小玉傾向で価格は伸びない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	2,523	191	166	216	195	茨城 50%
	18年	2,427	294	307	297	278	岩手 29%
	19年	2,272	320	324	365	271	福島 10%
	20年	2,479	200	240	190	169	青森 8%
	21年	2,285	218	255	221	178	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	2,397	243	257	256	218	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,150	230	235	230	225	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と東北産地からの入荷が中心となる。岩手、福島は猛暑の影響から花落ち、日焼け果が多く見られて出荷量が減少している。茨城も猛暑の影響から花落ちがあり出荷量が少ない。 全体として入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ばいしょ	17年	7,303	116	122	117	109	北海道 97%
	18年	7,423	113	114	114	112	青森 2%
	19年	7,416	86	91	86	80	(愛知産比率 0%)
	20年	7,601	106	108	108	101	
	21年	7,773	120	123	119	118	
いしょ	5カ年平均	7,503	108	112	109	104	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,700	115	120	115	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道のメインは樹勢の低下が早く、玉付きも少なく小玉傾向である。また、男爵も小玉傾向であるが、出荷量は安定している。 全体として入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	10,366	88	84	91	88	北海道 89%
	18年	11,350	87	84	87	90	中国 6%
	19年	10,910	71	72	72	68	兵庫 3%
	20年	11,478	84	84	86	82	佐賀 1%
	21年	9,216	116	124	115	109	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	10,664	88	88	89	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	10,000	90	95	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道中心の入荷となる。北海道は生育順調で玉肥大も良く、収穫作業もはかどり、潤沢な出荷が見込まれる。兵庫県は産地在庫量も多く、平年並みにある。 全体として、入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	17年	16,464	286	293	285	280	長野 25%
	18年	13,894	339	359	341	321	フィリピン 17%
	19年	12,977	346	361	342	334	青森 10%
	20年	13,757	280	273	297	268	愛知 6%
	21年	12,727	285	310	283	267	
	5ヵ年平均	13,964	306	-	-	-	
	22年見通し	12,000	290	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順の影響で、全体的に5日から1週間の生育遅れ。ぶどう、なしはGW前の着花不良で量が少なく、下級品が増える見込み。前月の猛暑で棚もちの悪い品目も出てくる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
み か ん	17年	2,012	371	569	446	277	三重 42%
	18年	1,367	447	602	490	376	宮崎 14%
	19年	1,432	431	586	483	335	愛知 10%
	20年	1,566	334	467	387	264	熊本 10%
	21年	1,787	305	471	312	243	
	5ヵ年平均	1,633	373	-	-	-	
	22年見通し	1,600	330	450	350	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は三重、愛知、宮崎の露地物中心。4月の低温で各産地ともピークは4、5日遅れ。早生の割合が増えるが、裏年で入荷量はやや減る見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
な し	17年	3,862	228	219	218	251	長野 65%
	18年	3,056	301	321	296	285	愛知 7%
	19年	2,850	297	304	284	300	福島 7%
	20年	2,959	222	206	233	227	富山 6%
	21年	2,382	230	239	224	224	
	5ヵ年平均	3,022	255	256	250	258	
	22年見通し	2,300	230	230	230	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で愛知、富山、福島。生育遅れで前月入荷分が今月にずれ込むが、4月の低温による着花不足で不作傾向のため、収穫は前年に比べて減少。特に幸水が減少している。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	49,871	266	271	274	253	フィリピン 11%
	18年	43,576	321	334	325	337	茨城 9%
	19年	39,630	327	334	351	320	青森 9%
	20年	47,979	265	258	279	256	福島 9%
	21年	46,085	259	280	262	240	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	45,428	286	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	44,000	275	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>なし、りんご、ぶどう、みかんなどが入荷する。りんごは開花遅れと高温の影響により肥大、色回りが遅れている。ぶどうは多様な大粒系品種が潤沢に入荷する見込み。巨峰は高温の影響で色回りが遅れている。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
みかん	17年	4,940	334	569	379	244	宮崎 47%
	18年	4,232	397	544	415	343	佐賀 17%
	19年	4,487	338	507	345	274	熊本 12%
	20年	4,714	296	478	320	238	愛媛 6%
	21年	4,961	260	401	265	215	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	4,667	323	498	343	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,500	265	400	270	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ハウスものが終盤を迎え、露地の「極早生」の入荷が本格化する。「極早生」の生育は梅雨明け後の高温の影響でやや悪い。今年は裏年にあたり、生産減が見込まれる。宮崎は前年を下回る見込み。熊本は平年並みの予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
なし	17年	15,331	204	206	194	211	福島 24%
	18年	11,636	278	298	277	261	栃木 23%
	19年	11,262	279	276	269	299	茨城 22%
	20年	14,772	198	194	207	190	千葉 15%
	21年	13,836	194	208	191	183	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	13,367	226	232	223	224	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	13,000	245	300	240	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島から「幸水」、栃木、茨城などから「豊水」中心に入荷する。栃木、茨城、千葉など関東産地は、開花期の凍霜害、雹害の影響で着果不良、傷果が多く、肥大もやや悪い。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

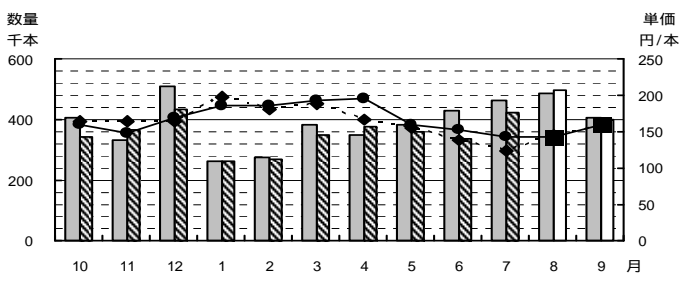
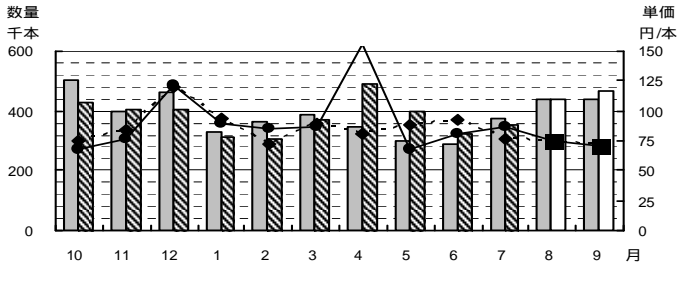
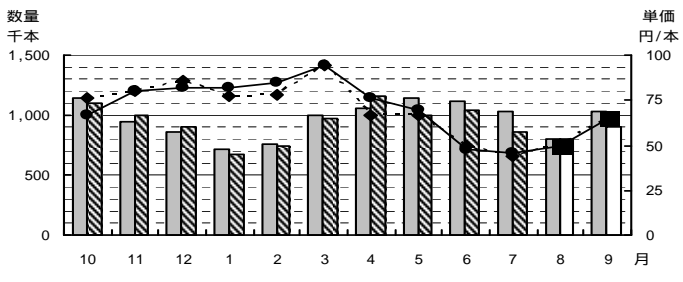
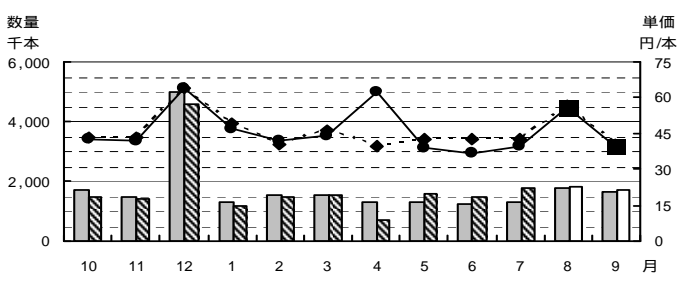
切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	3,643	58	
		19年	3,177	60	
		20年	3,578	42	
		21年	3,199	49	
		4ヶ年平均	3,399	52	
	22年見通し	3,000	50		
概要	<p>愛知、三重、長野等から入荷。品種も岩の白扇が終わりに近づき、精の波に切り替わる。愛知は前年並みの動き。このまま高温が続けば遅れも考えられるが、涼しくなれば、高冷地も含め前進出荷となる。 現状では順調に推移しているため、台風の動きにもよるが、堅調な動きとなる見込み。</p>				
小 ぎ	実績	18年	2,915	30	
		19年	2,852	35	
		20年	3,109	24	
		21年	2,500	26	
		4ヶ年平均	2,844	29	
	22年見通し	2,600	30		
概要	<p>愛知、長野、岩手、奈良他より入荷。前月中旬までの遅れも徐々に戻っており、今後の気温にもよるが各産地とも順調に推移する見込み。上旬あたりから徐々に増加してくる。前半はやや軟調であろうが、中旬以降は彼岸需要で活発な動きとなる見込み。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	18年	1,299	46	
		19年	1,333	44	
		20年	1,182	43	
		21年	1,103	43	
		4ヶ年平均	1,229	44	
	22年見通し	1,200	43		
概要	<p>長野、北海道を中心に入荷。生育は順調で、今月に入って徐々に増加してくる。前月から続く高温の影響で品質の低下が心配されるが、ブライダル、敬老の日、彼岸需要で後半は活発な動きとなる見込み。</p>				
か す み 草	実績	18年	134	111	
		19年	140	88	
		20年	117	107	
		21年	87	137	
		4ヶ年平均	120	108	
	22年見通し	110	110		
概要	<p>長野、北海道、福島から入荷。前月後半から続く高温により、品質面で不安はあるが、気温の低下に伴い品質は向上する。 価格はブライダル、敬老の日等の需要から荷動きはよく安定した価格となる見込み。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	18年	423	181	
		19年	448	170	
		20年	482	150	
		21年	405	158	
		4ヶ年平均	439	164	
	22年見通し	400	160		
概要	新潟、岐阜、北海道等から入荷。オリエンタル系は前半は品薄感がありそうだが、抑制物の出荷も始まり量は増加する。価格も業務需要を中心に安定する見込み。てっぽうはやや少なめの入荷。LAも前半少く、彼岸近くには増加するが強含みの動きとなる見込み。				
洋 ら ん	実績	18年	541	73	
		19年	506	72	
		20年	503	70	
		21年	437	71	
		4ヶ年平均	497	71	
	22年見通し	470	70		
概要	愛知、鹿児島、沖縄、静岡等と輸入物が入荷。前月から高温が続き品質低下しているが、カトレアは気温の低下ともある程度の回復が予想される。価格は業務需要中心で、中旬以降は彼岸需要もあって堅調な動きとなる見込み。				
ば ら	実績	18年	1,019	67	
		19年	959	62	
		20年	1,030	63	
		21年	1,029	65	
		4ヶ年平均	1,009	64	
	22年見通し	900	65		
概要	愛知、三重、岐阜、和歌山、長野等から入荷。暖地物の出荷も復活しすべての産地が出そうだが、高温が続くため品質が低下し、上位等級の発生が少ない。価格は、週末の日柄がよくプライダル等業務需要は活発で、堅調な動きとなる見込み。				
枝 も の	実績	18年	1,883	41	
		19年	1,730	42	
		20年	1,917	39	
		21年	1,626	41	
		4ヶ年平均	1,789	41	
	22年見通し	1,700	40		
概要	岐阜、長野からの入荷が中心。秋の季節感をもつ、野ばら、つるうめ等の実ものやまんさく、どうだん等の紅葉物の引合いは中旬以降強くなる。柳類の入荷も多くなる。彼岸需要によりしきみ、榊等の引き合いも強まり、価格は堅調に推移する見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	17年	52,895	556	
		18年	38,619	692	
		19年	46,156	508	
		20年	35,676	592	
		21年	32,109	560	
	5ヶ年平均		41,091	578	
	22年見通し		30,000	550	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。7～8号鉢の中鉢の引き合いが強い傾向となる。今後は、ユッカ等丈夫な植物の人気が出てくる。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(64%)、2位鹿児島(9%)、3位三重(7%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	17年	10,731	922	
		18年	10,188	921	
		19年	8,328	917	
		20年	12,115	850	
		21年	7,898	812	
	5ヶ年平均		9,852	886	
	22年見通し		11,500	800	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。最近の天候不順による日照不足でステムの枝振りや伸びが悪くなるのではないかと心配。単価は昨年同様厳しそう。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(60%)、2位長崎(15%)、3位高知(10%)となっている。</p>				
アンズリウム	実績	17年	31,333	981	
		18年	31,412	1,139	
		19年	29,918	1,250	
		20年	27,060	1,201	
		21年	29,520	1,032	
	5ヶ年平均		29,849	1,118	
	22年見通し		29,000	1,000	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。物日需要で寄せカゴ商品や8～10号の大鉢に買気が集中しそう。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(92%)、2位三重(8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シャコバサボテン	実績	17年	78,618	387	
		18年	81,481	425	
		19年	55,466	439	
		20年	64,285	442	
		21年	58,511	370	
	5ヶ年平均	67,672	412		
	22年見通し	55,000	350		
概要	<p>生産量の減少に伴い、入荷量は昨年より減少か。8月に引き続き関東の山上げ商品と愛知県内クーラー商品が主体か。単価は厳しそう。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（44%）、2位愛知（40%）、3位茨城（16%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	17年	97,868	149	
		18年	95,505	146	
		19年	63,339	110	
		20年	57,565	147	
		21年	86,577	150	
	5ヶ年平均	80,171	142		
	22年見通し	85,000	150		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4号鉢以上の入荷は少なく、ミニ系品種のポット物が主力となる。単価は昨年並みと思われるが、花立ちの少ない物は安めか。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位長野（28%）、2位愛知（27%）、3位埼玉（19%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	17年	82,186	170	
		18年	84,730	177	
		19年	69,661	185	
		20年	76,748	205	
		21年	78,366	191	
	5ヶ年平均	78,338	185		
	22年見通し	78,000	185		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。2.5号～4号鉢の小鉢が主体となる。物日需要で前半に景気が集中しそう。この時期の花持ちの良さを活かしたい所だが後半は軟調な動きとなりそう。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（53%）、2位岐阜（34%）、3位茨城（12%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	6月						6月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	50,927	118.4	4,014,783	123.1	79	104.0	378,434	129	36,616,325	134	97	92.9
トマト	117	114.8	36,083	135.6	308	118.1	1,625	220	631,818	289	389	143.0
たまねぎ	29,024	117.3	1,013,574	134.0	35	114.2	159,537	173	7,577,839	213	47	125.2
にんにく	1,113	79.4	192,975	168.8	173	212.6	8,583	91	1,333,008	184	155	148.7
ねぎ	3,784	116.6	349,816	106.8	92	91.6	22,071	150	2,018,053	143	91	90.9
ブロッコリー	3,097	94.6	514,477	100.7	166	106.4	16,019	111	2,942,899	119	184	112.9
結球キャベツ	1,278	164.4	43,464	161.2	34	98.1	11,896	110	463,553	121	39	108.2
にんじん・かぶ	3,906	174.6	176,293	137.7	45	78.8	20,891	107	1,092,093	104	52	103.2
ごぼう	2,340	108.2	141,244	121.7	60	112.4	15,857	98	880,600	134	56	127.1
えんどう	76	142.0	17,231	149.8	227	105.4	1,141	252	306,828	337	269	120.7
アスパラガス	196	102.1	116,605	94.9	595	93.0	7,509	120	3,569,699	112	475	85.6
まつたけ	5	2386.0	44,299	1007.3	8,107	-	5	1,757	44,299	910	8,107	203.5
しいたけ	157	104.1	44,460	110.2	282	105.9	3,091	124	776,426	136	251	107.2
かぼちゃ	1,776	253.3	171,996	544.5	97	215.0	80,764	99	5,444,474	115	67	111.1
果実(生鮮・乾燥)	196,579	94.0	25,442,737	95.2	129	101.3	1,005,202	93	120,185,192	98	119	107.0
バナナ	106,605	87.4	7,838,492	75.4	74	86.3	565,141	85	39,712,911	78	70	95.4
パイナップル	12,457	88.0	747,415	81.2	60	92.3	67,031	94	4,174,126	91	62	99.3
レモン	4,428	88.4	596,652	94.8	135	107.2	23,875	98	3,249,329	114	136	117.7
オレンジ	23,829	154.8	2,324,546	168.7	98	109.0	70,533	116	6,819,095	114	97	99.3
グレープフルーツ	16,657	84.6	1,073,016	78.1	64	92.3	113,681	98	11,328,810	102	100	112.7
メロン	2,028	95.6	214,065	93.7	106	98.0	16,403	88	1,782,225	83	109	103.2
ぶどう	172	244.3	37,928	193.5	221	79.2	7,054	136	1,096,843	139	155	84.0
キウイ	8,136	64.8	2,502,913	66.6	308	-	33,815	106	10,928,773	112	323	96.2
いちご	208	95.8	171,136	88.4	821	-	243	91	195,407	87	805	90.6
切花(生鮮・乾燥)	2,441	113.5	1,802,204	111.4	738	98.1	18,787	113	13,831,557	111	736	100.2
鳥獣肉類	162,791	107.9	71,643,347	116.0	440	107.4	850,571	104	363,599,427	104	427	100.4
牛肉(くず肉含む)	43,731	91.7	18,229,540	101.4	417	110.5	228,819	99	94,709,180	108	414	106.9
豚肉(くず肉含む)	76,843	125.0	40,334,026	125.0	525	100.0	383,148	104	200,904,205	104	524	100.1
鶏肉	34,671	103.4	8,264,112	121.8	238	117.8	199,483	117	43,882,695	98	220	94.4
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	143,857	98.3	76,153,218	103.9	529	105.7	863,299	99	428,157,933	94	496	95.1
まぐろ類	18,616	122.2	13,879,317	124.9	746	102.2	105,059	97	77,512,275	77	738	85.3
さば・さんま・あじ・いわし	5,375	127.0	908,816	138.7	169	109.1	44,556	71	7,047,811	64	158	91.7

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	143	99.6	139,319	126.1	972	126.6	13,852	130	4,248,858	144	307	104.0
うんしゅうみかん	5	126.2	6,720	152.6	1,452	120.9	232	213	102,854	139	443	330.3
りんご	78	93.4	32,547	99.5	415	106.6	13,271	129	3,672,321	150	277	106.9
なし	-	-	-	-	-	-	43	363	18,314	294	424	105.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	210,676	92.6	-	-	-	-	1,274,375	89	-	-
緑茶	170	113.1	385,057	126.2	2,261	111.6	1,000	107	1,964,691	120	1,964	112.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成17年 = 100）</small> <small>愛知県 平成17年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年 2月	99.3	107.1	91.8	104.1	101.6
	3月	99.6	107.6	92.2	104.0	102.2
	4月	99.6	125.1	89.0	103.3	102.5
	5月	99.7	116.8	104.0	102.9	102.9
	6月	99.7	111.6	119.4	103.5	102.3
愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
	22年 2月	99.2	97.4	90.1	104.7	97.5
	3月	99.5	96.1	90.5	104.0	100.7
	4月	99.4	114.4	86.5	101.1	100.7
	5月	99.4	110.1	96.7	100.8	101.1
	6月	99.5	107.4	114.0	101.3	102.9

項目 年月		農業物価指数（平成17年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年 2月	98.4	97.0	113.6	85.4	97.9
	3月	102.2	97.0	118.3	80.4	97.1
	4月	105.4	97.4	126.0	90.2	97.4
	5月	97.8	97.1	106.2	91.3	99.1
	6月	99.0	97.1	111.4	114.3	102.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、「コシカ」以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年 2月	1,995	173	124	567	483	315	148	273	254	562	600	187	369
3月	1,987	150	157	565	460	317	152	255	246	559	607	163	376
4月	1,995	218	270	669	571	375	194	362	247	493	746	171	423
5月	1,978	224	246	701	470	369	163	364	259	434	620	195	476
6月	2,003	170	206	750	381	366	152	322	230	458	504	179	504
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年 2月	484	291	373	137	245	636	546	149	156	301	216	815	444
3月	527	277	366	138	237	670	560	149	168	304	233	812	454
4月	-	266	333	122	239	681	557	155	162	300	234	705	441
5月	-	278	333	120	228	724	557	166	153	302	220	700	420
6月	-	267	342	-	221	767	560	145	165	295	218	710	459

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 447
平成22年9月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417